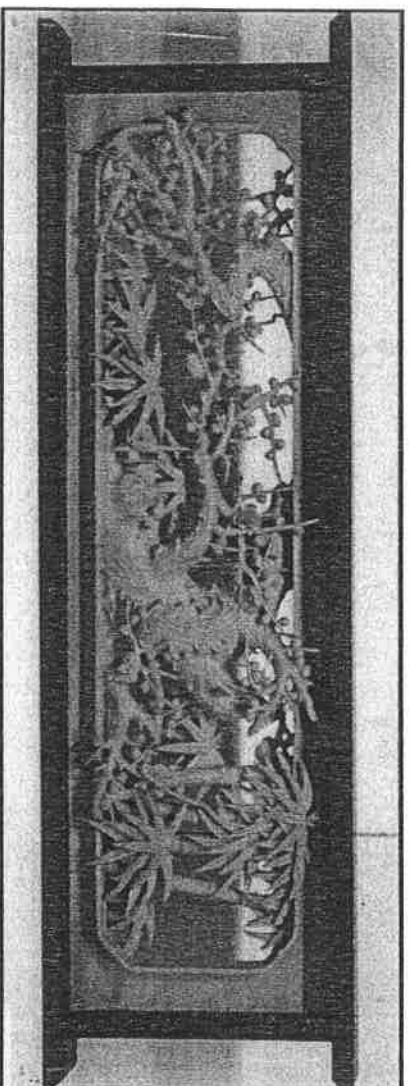


徳永
とくなが

政男
まさお



概要

氏名 徳永 政男

住所 熊本市東区石原1-10-1

主な活動地 熊本市

地域文化活動部門

徳永政男氏は、十三歳の頃から欄間彫刻店を経営する父の下で仕事を始め、二十八歳で北陸・京都を中心
に修業を重ね、三十歳で帰熊し、籠彫りの技術を身に
つけました。
籠彫りとは、寺社の柱上部にあるたばさみなどに使
われる立体的な彫刻技法で、五百種類もの彫刻刀や鑿
を使い分け、通常の欄間よりも厚い十二センチほどの
板材に絵柄を彫り、隙間にのみをくぐらせながら別の
模様を彫ります。このような高度な技術を要する籠彫
りの欄間彫刻を手掛けているのは、熊本県では徳永氏
のみで、県内外からの注文に応えてきました。
平成四年には、熊本県伝統的工芸品指定者に認定さ
れ、平成十二年から平成二十年までの八年間熊本県伝
統工芸協会の会長を務め、平成十三年から六年間熊本
市工芸協会の会長を務めるなど、県内外での伝統工芸
の普及・発展に尽力しました。
日本の伝統的な建築に欠かせない欄間彫刻の高度
な技術を約六十年間にわたり継承し、後進の指導や伝
統工芸の発展にも努めており、地域の文化振興に大き
く貢献しています。

これまでの活動歴

昭和二十六年	中学一年生の時に父の下で仕事を始める
昭和四十一年	北陸・京都を中心に修業を重ねる
昭和四十三年	帰熊し、籠彫りの技術を身につける
平成四年	熊本県伝統的工芸品指定者に認定される
	※県伝統的工芸品指定者とは県の等に指定書を交付するもの 三十年以上の歴史を有するも 統的な技法・技術で製造され、 知事が手工業的な工芸品で伝
平成十二年	熊本県伝統工芸協会の会長を務める
平成二十年	を八年間務める
平成十三年	熊本市工芸協会の会長を務める
平成十九年	年間務める